

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 小学校第2学年

【単元名】 ネバネバ 大きくせん（17時間扱い）

【育成する資質・能力】

〔知識及び技能〕	〔思考力, 判断力, 表現力等〕
・おいしい納豆を作るには, 様々な工夫や努力があることに気付いている。	・保温する温度や時間を試行錯誤し, 自分自身が満足する納豆を作ろうとしている。 ・納豆を作ることを通して, その様子を絵や文で素直に表現している。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「大豆を収穫しよう」 自分たちの畑に実った大豆を収穫した。
・大豆を収穫後に, その大豆をどうしたいかクラスでの話し合い。収穫できたことのよさに気付く。

生かす見方・考え方：納豆づくりを大豆栽培と自分との関わりで捉え, 自分の思いや願いを実現しようとする。

過程	学習活動 (時間)	留意点
思いや願いをもつ	活動への願い：収穫できた大豆で, 自分たちの納豆を作りたい。 1 納豆について調べる (3)	納豆に対する子どもの思いや願いをもつ場面 ☞単に納豆を作るということではなく, 自分たちが今まで大事に育ててきた大豆が納豆になるという, 子どもの思いを大切にする。
活動や体験をする	2 納豆作りに取り組む (11)	試行錯誤して自分の納豆作りを行う場面 ☞自分が作りたい納豆に向けて, 大豆の量や温め方などを試したり友だちと情報交換したりして, 自分なりの納豆作りが工夫できるようにする。また, 必要に応じて専門家の方に納豆の作り方を聞く場を設ける。
感じる・考える	3 出来上がった納豆を, 自分なりの方法で食べる(2)	手作り納豆をみんなで食べる場面 ☞何度も納豆を作り, 自分たちで手作りの納豆を作ることができたことの喜びを感じることができるような声かけをする。
表現・行為する	4 納豆作りを振り返る (1)	対象への気づきを自覚する場面 ☞納豆作りを振り返りながら, 気付いたことを自覚し, 表現する場を設ける。

次単元へのつながり：「納豆を食べてもらおう」お世話になった方に自分たちの納豆を食べてもらう
・手作り納豆作りへの思いを伝える。 ・食べてもらったことのよさに気付く。